

令和 2 年 度

学 校 評 価 (結 果)

育てたい生徒像

- 1 知・徳・体の調和のとれた感性豊かで至誠の心を持つ生徒
- 2 人権を尊重し、民主的でかつ協和の精神に富んだたくましい生徒
- 3 勤労と責任を重んじ、自主的・自立的に行動できる生徒
- 4 自己のあり方や生き方について考える生徒

徳島県立小松島西高等学校勝浦校

総括評価表

重点課題1：「わかる授業の展開と確かな学力の定着」

重点目標	自己評価				学校関係者評価・意見 (評定)	成果及び次年度への課題・改善方策
	評価指標	活動計画	達成度・実施状況	評価		
基礎的・基本的な知識・技術を習得させるため、指導方法の工夫・改善を行い、生徒の学力の定着と向上を図る。	①家庭学習の定着・習慣化 自宅学習ゼロ時間でない生徒 1年生 60%以上 2年生 70%以上 3年生 80%以上 課題提出率 90%以上	定期考査前に家庭学習時間を調査 →実態把握と改善指導	自宅学習ゼロ時間でない生徒 (生活・学習の記録 調査結果より) 1年生 79.2% 2年生 57.3% 3年生 67.0% 課題提出率(夏・冬平均) 93.9%	B	B 家庭学習において今後も継続指導を実施して欲しい。 学校行事を見直し、授業時間数をよく工夫され確保している。今後も取り組んでいただきたい。	○家庭学習の習慣化 ○評価方法の見直し
	②基礎学力の向上 生徒の自己評価 80%以上	授業の取組に関するアンケートの実施 →結果に関する情報共有、状況改善	アンケート結果(97名回答) 質問1 ①23名 ②50名 $\frac{73}{97} \times 100 = 75(\%)$	B		○アンケート結果の情報発信 ○学習環境の整備
	③指導技術の向上 授業見学会の実施 年間3回 各学年1回実施	授業評価シートの活用 →授業を見学された先生からのアドバイス等により授業の指導力向上	1年生 11月12日(木) 2年生 12月3日(木) 3年生 7月9日(木) 3回実施	A		○より充実した授業見学会の実施 ○指導方法改善、評価方法見直し
	④授業時間数の確保 授業実施率(2学期末現在)の向上 $\frac{\text{実施授業時数}}{\text{単位数}}$	学校行事の精選、授業の振替え等 →2学期末に授業の実実施時数を集計し実施率を算出	1学期終業式(8/7) 2学期始業式(8/24) 文化祭、収穫祭、球技大会の中止、修学旅行延期により授業時数を確保 応用生産科 $\frac{2458}{119} = 20.7(21.5)$ 園芸福祉科 $\frac{2460}{119} = 20.7(21.5)$ ※カッコ内は昨年度の数値	B		○学校行事の精選 ○授業時間数の確保 ○出張・年休等に伴う自習の削減

重点課題2：「豊かな人間性の育成と人権教育の推進」

重点目標	自己評価				学校関係者評価・意見 (評定)	成果及び次年度への課題・改善方策
	評価指標	活動計画	達成度・実施状況	評価		
一人一人を大切に、互いに思いやり尊重する態度を育てるとともに、生命や人権を大切にす意欲を培い実践力を身につける。	①人権学習ホームルーム活動満足度 80%以上	人権学習ホームルーム活動 年間5回実施 →全教職員による学習指導案提示	臨時休校があり年間4回の実施となった。満足度は生徒約70%、教職員が約88%であり、次年度はさらに満足度の向上をめざしたい。	B	B 今年度は臨時休校があり、HR活動の実施数減やアンケートの実施時期が遅くなってしまったことは致し方ないことであり、コロナ禍においてよく工夫され実施されている。 修学旅行の実施時期を次年度に延期し、2学年同時期に行うにあたり、上級生・下級生との人間関係にトラブルがないようにご指導いただきたい。	○人権学習ホームルーム活動は、今年度は前年度の取組のまとめとして、「同和問題」についての学習に取り組んだ。その後各学年で「個人権課題」を取り扱い、特に2年生は修学旅行の事前学習を兼ねて「アイヌの人びと」について、3年生は「災害時における人権」について学習した。また今年度も炊き出し訓練を実施することができ、アンケート結果から、参加した生徒の充実感を感じることができた。来年度もコロナ禍における災害と人権について生徒・教職員の研修を深めていくことが求められる。そのための日程や内容を精選する必要がある。
	②いじめ等に関するアンケート実施 「いじめと思われることを経験」 「いじめと思われる行為をした」を0にする	いじめ等に関するアンケート 全学年年間2回以上実施 →実態把握に努め、適切な指導を行う	臨時休校があり、いじめ問題に関するアンケートを実施が2月以降となった。来年度のホームルームの環境づくりに活かしたい。	B		
	③全学年で道徳教育のホームルーム活動実施 1回以上	道徳教育のホームルーム活動 →人権教育課による統一指導案提示・資料提供	道徳教育のホームルーム活動は実施できなかったが、日々の社会道徳の指導などで積み重ねることができた	B		
	④教職員研修対象の研修会参加率 80%以上	特別支援教育を含む校内外の研修会 年間3回実施 →教職員が少なくとも2回以上参加	コロナ感染症拡大防止のため、教職員対象の研修会実施は少なかったが、充実感や満足度は約80%であった。	B		

重点課題3：「キャリア教育の推進と進路希望の実現」

重点目標	自己評価				学校関係者評価・意見 (評定)	成果及び次年度への課題・改善方策
	評価指標	活動計画	達成度・実施状況	評価		
望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせ、主体的に進路を選択する能力と態度を育てる。	①卒業時における生徒の進路決定率 80%以上	①-1進路指導についてのHR活動・進路ガイダンス →学期に1回以上 ①-2履歴書の書き方・面接指導等 →3年生の1,2学期	①卒業時における生徒の進路決定率 93.8% 学期に1回以上の進路ガイダンス・HR活動を実施した。	B	B 今年度、勝浦塾は、感染拡大防止のため、実際に企業見学はできなかったが、企業説明会でのアンケートでは、昨年度よりも高い自己評価肯定率である。 今後も様々な進路につながる資格取得に挑戦させていただきたい。	○今後も進路ガイダンス等を実施し、将来について考える機会を増やす。 ○生徒との面談を数回実施し個々の生徒の希望を把握すると共に企業との連携を密にする。 ○農業技術検定の合格者を増加させる。
	②「勝浦塾」就業体験学習自己評価肯定率 80%以上	②-1「勝浦塾」(企業見学) →2年生の2学期 ②-2ポスター等で成果を報告 →収穫祭	②「勝浦塾」就業体験学習自己評価肯定率 95.3% 企業説明会を実施した。	A		
	③総求人数 250人以上 企業訪問 50社以上	企業訪問および企業開拓 →進路指導課・3年学年団	③ 総求人数 540 訪問企業数 66	B		
	④資格取得者の総数 100人以上	様々な資格取得に挑戦させる →刈払機講習会(1年生)、ビジネス文書実務検定(全学年)、漢字検定(全学年)、農業技術検定3級(2年生)	刈払機講習会(35人)、ビジネス文書実務検定(41人)、漢字検定(23人)、農業技術検定3級(19名)の他にも危険物丙種(2名)などのべ100人以上の合格者を出すことができた。	A		

重点課題4：「基本的生活習慣の確立と規範意識の育成」

重点目標	自己評価				学校関係者評価・意見 (評定)	成果及び次年度への課題・改善方策
	評価指標	活動計画	達成度・実施状況	評価		
愛情と信頼に満ちた人間関係を構築し、社会の一員としての責任と義務を自覚させるとともに、自律心を養い規範意識を醸成する。	①年間5回以上全校集会を実施し、いじめを含む問題行動や事故の防止、頭髪・服装指導等生徒指導面での改善	各学期の節目に実施 学校全体、学年、HRで共通意識を持ち連携 →効率的で公平な指導をおこなう。	①毎月はじめに全校集会を実施し、頭髪・服装指導ならびに生活面でのアドバイスを実施した。	B	B バスの発着時刻の遅れでバス通生が遅い時間帯にバス停で待っていることがあり、この寒い時期に健康面で心配であるが、がんばっていただきたい。	○今後も継続して毎月全校集会を実施する事で、生活面での指導の向上が期待できる。 ○今後も継続した指導に努める。
	②校内、校外における交通安全講習会の開催 年間1回以上	交通安全に対する意識付け 県内の高校生の事故状況等を踏まえた内容 →小松島署交通課に依頼	②例年7月に実施していたが、今年度については3密の回避・マスクの着用の徹底などコロナ感染拡大防止を意識しながら10月に実施した。	B		

重点課題5：「特別活動の活性化と環境教育の推進」

重点目標	自己評価				学校関係者評価・意見 (評定)	成果及び次年度への課題・改善方策
	評価指標	活動計画	達成度・実施状況	評価		
学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	①学校行事への主体的な参画 収穫祭の充実 生徒の満足度 80%以上	①-1 計画的な企画、準備、運営 ①-2 各行事に関するアンケートの実施 →結果に関する情報共有、課題、改善方策	コロナにより収穫祭は中止。各専攻ごとに地域での販売活動を行った。 体育祭アンケート結果 とても良い・良い 86%	B	B 勝浦校生にあいさつをするとすぐにあいさつを返してくれて、素直さ、高校生らしさがでており好評である。 エコキャップ回収については、地域にもっと生徒会活動を通じて広報活動に力をいければ、協力して下さる方が増えます。町社会福祉協議会が回収活動をしていたが、現在中止しているのので、今後勝浦校の回収活動に協力していきたい。	○特活課と農業科、家庭クラブおよび各担当との連携 ○地域への積極的な働きかけ ○小規模校・農業高校の特性を活かした体育祭、収穫祭のあり方 ○部活動の活性化 ○あいさつ運動の継続 ○環境美化に関する意識の向上 ○エコキャップ運動の呼びかけ
	②生徒会活動の充実と活性化 あいさつ運動 月1回以上 校内外清掃活動 月2回以上	あいさつ運動の実施 →あいさつに関する自己評価の実施 バス停等学校周辺・校内の清掃活動	・あいさつ運動 合計5回実施 ・自分から挨拶することへの意識付けができた。 ・校内清掃活動 合計10回実施	B		
	③部活動の充実と活性化 部活動加入者の自己評価 80%以上	部活動の取組に関するアンケート実施 →生徒の状況把握と指導改善	・2月実施予定	B		
	④環境美化に関する意識の向上と実践 ゴミの分別・リサイクル活動 年間3回以上	ゴミの分別、清掃状況の点検・評価 →定期的なリサイクル活動	・各HRで分別指導 ・ペットボトルのキャップを回収、エコキャップ回収業者に持って行く予定	B		

重点課題6：「学校の活性化、産業教育の振興と新しい学校づくり」

重点目標	自己評価				学校関係者評価・意見 (評定)	成果及び次年度への課題・改善方策
	評価指標	活動計画	達成度・実施状況	評価		
基礎・基本の定着を図りこれまでの教育を創造し、地域に根ざした活力と魅力ある学校づくりを推進する。	①校外実習活動、交流学习の実施数 年間30回以上	①-1 勝浦町内老人介護施設の花壇整備 校外実習年間3回以上 ①-2 勝浦町内病院の花壇整備 校外実習年間10回以上 ①-3 勝浦町内小学校の小学生と交流学习・農業支援 →土作りから野菜作り栽培管理等について 年間3回以上 ①-4 希少植物(ジンリョウユリ)定植、観察等校外実習年間2回以上	①-①特別養護老人ホーム喜楽苑(花壇作り・庭園管理(計8回)) ①-2 勝浦病院(花壇作り、管理作業(計4回)) ①-3 生比奈小学校(圃場整備や野菜苗植えつけ・収穫、交流学习)(計4回) ①-4 ジンリョウユリ定植、観察等の増殖活動を行った。(計2回) (年間計18回)	A	A 今年度、収穫祭が実施できなくて残念だが、来年度は、感染対策をとり、実施できるようにしていただきたい。町民からの期待も大きい。 小学校との交流について、高校生のお兄さんお姉さんが、学校に来校してくれるのを楽しみにしている児童がたくさんいます。多くの地域交流活動は今後も継続していただきたい。	○校外実習活動、交流学习の継続と実施。生徒の自主性・主体性の育成 ○校外での活動を行うための予算確保 ○計画的な施設・設備の整備と有効活用の推進 ○研究機関や農家等の見学や研修。そのための予算確保 ○情報発信と宣伝活動の充実
	②地元農産物販売所「よってネ市」 野菜・果樹・草花等の農産物販売品目 年間35品目以上	②-1 野菜・果樹・草花・加工品等の生産 →年間を通して販売 ②-2 地元から求められる農産物の生産	②-1 農産物の数多くの品目を販売することができた。(計36品目) ②-2 人気農産物の販売ができた。	A		
	③学校ホームページの更新 月平均10回以上	③-1 各課・科・部活動等からの情報の発信 →学校と保護者の連携を図る ③-2 学校ホームページ掲載状況の点検・評価 →わかりやすい情報発信	③-1 保護者に対して各部門から多くの情報が発信できた。 ③-2 記事の内容や見やすさを考えて学校の様子や生徒の活動状況等を紹介した。(月平均8回)	B		